



風のスタジオ情報

舞台俳優 演劇人の皆さま 定員12名 2023.4.22sat 13:00-16:00 ② 4.23sun 9:30-12:30

発する「からだ」を受け取る 身体に気づく

『からだ』 主演 ワークショップ

講師 坂上 健

舞台に出たときの体の使い方、俳優活動の参考になるような身体表現・所作を学ぶWS。

風スタジオ 019-604-9020 kaze@iwate-arts.jp



＜ご利用案内＞

演劇等の練習や公演会場に利用してみませんか？

【利用時間】 9:30～21:30 まで（準備及び片付けの時間も含む）

【利用料金】 下記の表をご覧ください。※税込、冷暖房費、舞台スタッフ料は除く

下記の料金表は一部です。詳しくは風のスタジオ HP をご覧ください。

【申込方法】 ご予約は原則 1 年前より承ります。

電話・メール・窓口にてご予約できます。予約後、速やかに申込書をご記入いただき、利用料金をお支払いください。

【お問合せ】 風のスタジオ 019-604-9020 kaze@iwate-arts.jp

Table with 4 columns: 施設名, 4時間単位, 1日単位, 1週間単位. Rows include 風のスタジオ, リハーサル室・風のアトリエ, and 風のアトリエ 本番使用 及び 風のスタジオの稽古使用.

「盛岡町家春祭り 2023」

～旧暦の雛祭りから桜が咲くころまで～

鉾屋町界隈 情報

盛岡町家等の歴史的建物、清水、酒蔵等が残る盛岡市鉾屋町界隈。城下町の風情残る自然豊かな街並みと暮らし文化の魅力に出会う街。

会 期：2023 年 4 月 8 日（土）～ 30 日（日）

場 所：盛岡市鉾屋町界隈・大慈寺町界隈

内 容：町家と雛人形、酒蔵でお酒と音楽のイベント、期間限定町家食堂・カフェ、鉾屋町のまち魅力紹介展示、桜巡り盛岡弁まち歩き など

主 催：盛岡町家春祭り委員会

※歩行者天国は予定しておりません。

※春祭り専用駐車場はございません。公共交通機関でのご来場をお願いいたします。

【最新情報・お問合せ先】

営業時間 10 時～ 16 時（水曜日定休）

所在地 〒020-0827 盛岡市鉾屋町 3-15

※大慈清水のすぐ近くです♪

お問合せ NPO 法人盛岡まち並み塾事務局

TEL 019-656-1603

盛岡まち並み塾 HP ↓



発行者 特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター

【本部】

〒020-0874 盛岡市南大通 1 丁目 15-7 盛岡南大通ビル 3 階

TEL(019)656-8145 FAX(019)656-8146

E-mail info@iwate-arts.jp URL https://iwate-arts.jp

本部 HP



【肴町事務所・風のスタジオ】

〒020-0878 盛岡市肴町 4-20 永卯ビル 3 階

TEL(019)604-9020 FAX(019)604-9021

E-mail kaze@iwate-arts.jp URL https://kaze.iwate-arts.jp

<窓口営業時間> 月～金 9:30～17:30 ※土日及び祝日・年末年始休み

<施設利用可能時間> 9:30～21:30

風のスタジオ HP



【もりおか町家物語館】

〒020-0827 盛岡市鉾屋町 10-8

TEL(019)654-2911 FAX(019)654-2913

E-mail machiya@iwate-arts.jp URL https://machiya.iwate-arts.jp

<開館時間> 9:00～19:00（最終入場 18:30）※浜藤ホールのみ利用時は 21:30 まで

<大正蔵 1 階ショップ&カフェ営業時間> 10:00～17:00

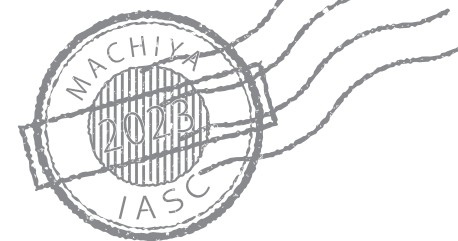
<休館日> 毎月第 4 火曜（祝日の場合はその翌日）年末年始 12/29～1/3

<入館料> 無料 ※一部企画展は有料の場合があります。

大正蔵 1 階 「時空の商店街」 SHOP & CAFE インスタグラム

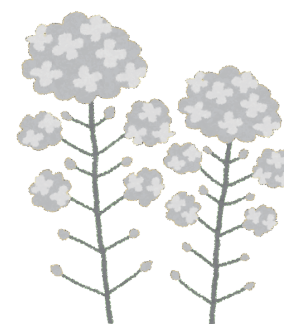


もりおか町家物語館 HP



4

もりおか町家・風の通信



新年度がスタートします



# もりおか町家物語館

盛岡町家春祭り 2023

【盛岡市所蔵美術品展】

## 「花々」

盛岡市所蔵の美術品の中から、春の訪れを感じられるような「花」を描いた作品を集めました。金子千恵子、齊藤二男、里見勝蔵、田辺至、橋本八百二、深沢紅子の計6名の作品を展示します。

< 会期 >

4/1(土) ~ 5/21(日)

9:00 ~ 19:00 (最終入場 18:30)

※4/25(火)は休館日。

< 会場 >

大正蔵1階 展示コーナー



### 町家事業 REPORT

#### ◆浜藤の酒蔵ブックマーケット

2月26日(日)に、『浜藤の酒蔵ブックマーケット 2023 Winter/Spring』を開催しました。今回は「春を待つ」をテーマに19組の出店者さんが集まり、古本やZINE(自主制作本)、読書グッズ等々、バラエティ豊かな商品が浜藤ホールに並びました。特別イベントとして、午前中に「絵本読み聞かせ会」、午後には当館の蓄音機を使ったSPレコードコンサートが行われ、たくさんのお客様で賑わいました。ご来場ありがとうございました。

#### ◆岩手ゆかりの近代詩文書作品展

2月10日(金)~3月12日(日)に、初めての書道公募展を開催いたしました。一般公募作品の他、盛岡市所蔵品、招待作家作品と併せて展示し、盛岡市所蔵美術品展は21日(火)までの開催でした。一般公募では、20名24作品が集まり、総計38点となり、岩手にゆかりのある題材を、みなさん思い思いに表現された作品でした。

鑑賞者による投票も実施し、1位~6位までを表彰しました。出展者だけでなく、ご来場いただいた方にも参加していただき、楽しんでいただけた展示となりました。今後も継続して開催できるよう、努めて参ります。

## 「大正蔵1階 SHOP&CAFE」 <オススメ商品のご案内> ~「ホームスパン」をご存じですか?~

「ホームスパン」とは羊毛を手で紡ぎ、手織りしたものです。家(home)で紡いだ毛織物(Spun)から由来しています。イギリスで発展したホームスパンの技術は、明治期に日本へと渡り、農閑期の副業として広まりました。今、地場産業として残るのは唯一岩手県のみです。  
当店では、みちのくあかね会と木羊日のホームスパン商品を取り揃えています。手織りならではの風合いやあたたかな色合い、手触りの柔らかさをぜひお手に取ってお確かめください。日常で使う物だからこそ、ちょっといいものを。自分へのご褒美にもおすすめです。

●小銭入れ(¥2,530) ●印鑑入れ(¥2,420) ◆陶皿針刺し(¥1,430) ◆コースター(¥2,000)  
※すべて税込価格 ※●:みちのくあかね会 ◆:木羊日

この他、ショップでは盛岡の工芸品や地酒、銘菓など、賑わいに溢れた品揃えで皆様のお越しをお待ちしております。

営業時間: 10:00 ~ 17:00 ※第4火曜日は休館日

### 盛岡町家春祭り 2023

#### 「町家春のコンサート ~ピアノとチェロの二重奏~」



ピアノは長谷川恭一、チェロは三浦祥子によるコンサートです。



< 日時 > 4/8(土) 14:00 ~ 15:30

< 会場 > もりおか町家物語館 浜藤ホール

< 料金 > 前売 1,000円 当日 1,500円

< フレイグaid > もりおか町家物語館、風のスタジオ、  
フラザオでって、カワトク

< 予約・問合せ > もりおか町家物語館 TEL019-654-2911

### 盛岡町家春祭り 2023

コミュニティスペース DOMA  
展示情報

#### 鉈屋町・大慈寺町界限 おもいで写真展

これまでに当館に寄せられた、鉈屋町・大慈寺町界限の昔懐かしい写真を展示します。

4月8日(土) ~ 28日(金)

開催時間: 9:00 ~ 19:00 (最終入場 18:30)  
最終日 ~ 16:00

◎大慈清水御休み処でも展示します。

4月15日(土) ~ 30日(日)

※10:00~16:00、(水) 定休日

#### 書道研究 平心会 小品展 ~新緑と風を感じて~

盛岡で活動している書道団体の展示です。「新緑と風を感じて」をテーマに取り組んだ、18名による小作品を展示します。ぜひ、ご覧ください。

4月29日(土) ~ 5月14日(日)

開催時間: 9:00 ~ 19:00 (最終入場 18:30)  
初日 12:00 ~ / 最終日 ~ 16:00

会場: もりおか町家物語館 母屋1階 (※旧カフェ DOMA)

※こちらで作品を展示することができます。詳しくは当館までお問合せください。

### りレーコラム No.76

「地域と共に、関係人口創出へのチャレンジ」

都市集中型の人口構造が続く中、岩手においても沿岸及び県北地域の人口減少が進み少子高齢化が追い打ちを掛け、東日本大震災津波、コロナ感染は地方経済に大打撃を与え続けている。岩手県北バスグループ(岩手県北自動車・みちのりトラベル東北・みちのりホテルズ=浄土ヶ浜パークホテル/四季亭・宮古エコカーシェアリング・東日本交通)は、その中において「どうやって経済交流人口を創出して地域と共に持続的な事業を継続していくか」を真正面から捉えて取り組んでいる。東日本大震災津波後は、地方の身近な公共交通機関として一早く運行を再開し復旧と復興の交通インフラとしての役割を担い、観光の灯を早く灯すことにもチカラを注いだ。そしてコロナ禍、人流が寸断された中でどうやって元のように戻らないだろう移動人口を確保し創り、経済交流人口を復活させるかチャレンジを続けている。

都市間距離バスや貸切バス需要がなかなか戻らない中で、観光経済を再興させる国の事業や観光庁事業の情報を注視し CSV を念頭に様々な企画を興し地域公共交通事業者として先を見越しての新たな観光地間バス(国立公園八幡平エリア周遊バス等)や地方都市間バス(久慈⇄八戸線)の実証運行を行ってきた。復興のシンボリックな交通インフラとして全通した三陸沿岸道路においては、三陸高速バス(宮古⇄気仙沼・仙台線)実証運行の後、昨年春から本格運行に移行させて今に至っている。また、観光拠点再生・高付加価値化事業等に際しても当該地域の自治体や民間観光事業者と連携して観光客誘客や観光コンテンツ開発に取り組み八戸圏域や三陸沿岸を中心に展開し、昨年は地域資源を活用した地域の看板商品創出事業に於いて盛岡市河南地区の町づくり協議会や NPO と連携し「映える盛岡」でのボンネットバス運行やレトロな街盛岡のセールスプロモーションに貢献してきた。

with コロナ・after コロナを見据えての2023年、弊社グループにおいては台湾からのスキー&スノーボードに始まったインバウンド回復基調をしっかりと取り込み初め、春からの観桜ツアーや東北周遊ツアーの企画提案営業を行いながら台湾事務所がある強みを活かし、誘客を図っていく。また、新たなる欧米への誘客営業を強化して滞在日数が長くカルチャー的志向を訴求するニーズに応えられる観光コンテンツを地域の自治体や観光関係事業者と連携して開発していきたい。さらに、5月中旬からの人流の回復を念頭に本格運行中の三陸高速バス(宮古⇄仙台駅間)利用増や昨年7月に宮古市から受託運航開始している宮古うみねこ丸2年目の目標達成に向けたセールスプロモーションや企画船強化を図っていきたい。NY タイムズ紙による「盛岡」の知名度は、相当なレベルで高まっていることを受け昨年同様に国の観光施策事業を活用した「街なか周遊観光」の取り組みや日本遺産奥南部漆物語(二戸・八幡平)・日本農業遺産(平泉)等「日本らしい原風景としての北東北」をそれぞれ繋ぎ、地方公共交通と地域の観光事業者として CSV を意識した取り組みを続けていきたい。

岩手県北バス 執行役員営業本部長 平澤光昭